

1. 科目名（単位数）	教育実習指導（初等）Ⅱ（1 単位）		3. 科目番号	SJEL3456
2. 授業担当教員	坂本史生			
4. 授業形態	基本的には講義、実習等を行い、グループ活動等を取り入れる		5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	教育の原理、各教科等の指導法について学習済みで理解していることが望ましい。			
7. 講義概要	教育実習に対する理解を深め、教育実習生としての態度や心構えを育成する。内容としては、教育実習の意義、目的、教育実習の概要、教育実習生としての基本姿勢・生活態度、教育実習の心構え等と、教科等の学習指導案の作成及び授業実践、教育実習日誌の作成等教育実習に必要な内容について学習する。			
8. 学習目標	1. 社会人(教育公務員)としての自覚をもち、使命感をもって教育実習に臨めるようになる。 2. 教育実習での自己の課題を考え、明確にし、自信を持って教育実習ができるようになる。 3. 道徳の指導計画・学習指導案を作成し、模擬授業を行うことができるようになる。 4. 学校の環境や生活の流れ、学級経営の実際等、教育実習に必要な事項を理解できるようになる。			
9. アサイメント（宿題）及びレポート課題	教育実習では、児童の発達段階や学習指導要領に沿った学習指導案を作成する力と、その学習指導案をもとにしながらも児童や学校の実態に応じて授業を実施できる力を基本的な能力として身につける必要がある。また教育実習をよりよいものとするためには、自身の取り組みを振り返り、課題を発見し、その解決策を考えるといった自己を指導していく力が要であることから自身の課題と改善策を考える期末レポートにも取り組む。 課題１：指導案の作成と模擬授業 課題２：期末レポート「教育実習に向けて、自身の課題とその改善策」			
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 特に使用しない。その都度資料等を配布する。 【参考書】 ①文部科学省 新学習指導要領（平成 29 年 3 月公示）東洋館出版社，2018 年。 ②文部科学省『小学校学習指導要領解説 総則編』東洋館出版社，2018 年。			
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1, 小学校教諭としての資質を理解しているか。 2, 児童理解を通して授業研究に取り組もうとしているか。 ○受講に対し、次の内容を総合して評価します。 1, 授業態度（教科書の準備・私語・発表）３０％ 2, 学習指導案の提出３０％ 3, 模擬授業観察記録の提出２０％ 4, 模擬授業２０％ 上記の他に、本学の規定に定められている３／４以上の出席が単位の取得条件であることも配慮する。			
12. 受講生へのメッセージ	教育実習は、小学校教諭になるために自己の力を高める非常に重要な機会です。この教育実習を有意義なものにするためには事前の準備が大切になります。事前に準備をするからこそ、教育実習中に主体的に学ぶことができ、自身の課題を把握し、その課題の解決に努めていきます。学校現場は、将来ともに働く仲間を育てるため、また学生の皆さんの先生になりたいという希望を応援するため、通常の業務に加えて学生の皆さんの指導をしてくれています。心身ともにしっかりとした準備のもと充実した教育実習となるように頑張りましょう。 学生の皆さんの主体的な学習態度が授業の基本となります。そのため意欲をもって授業に臨ようにしてください。			
13. オフィスアワー	授業時に提示する。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容		学習課題	
第１回	オリエンテーション:教育実習の意義と目的について理解する。		事前学習	「教育実習（初等）の手引き」を読み、教育実習を行う上で不安なこと、疑問に思うことを明らかにしておく。
			事後学習	授業を振り返り、疑問点等をまとめるとともに、自分なりの回答を考える。
第２回	現代の小学校と子どもの理解：一般的な小学生の特徴や、その周りの環境について理解する。		事前学習	自分が小学生だった頃と、現代の小学生の相違点についてまとめておく。
			事後学習	子どもの発達段階や特徴、子どもを取り巻く環境についてまとめる。
第３回	教育実習に向けた心構え:挨拶等の基本的なマナーや教育実習中に目指す学習姿勢等について理解する。		事前学習	教育実習の具体的内容イメージするとともに、どのように教育実習を行っていきたいか具体的な自分の姿を考えておく。
			事後学習	教育実習における基本的なマナー等について、実践できるようリストにまとめておく。
第４回	コミュニケーションスキルの基本		事前学習	コミュニケーションをとるときに工夫している点や苦手な点をまとめておく。
			事後学習	コミュニケーションスキルを習得できるよう四国錯誤しながら自分なりにまとめる。
第５回	観察の目的と方法:児童観察のポイントや授業観察の留意点を理解する。		事前学習	観察のポイントや留意点について、自分なりにまとめておく。
			事後学習	事前にまとめた観察のポイントを修正し、リ

			ストとしてまとめる。
第 6 回	授業を行う上での基本：文字、板書、授業規律、ノートの使い方、机間指導など、授業を行う上での基礎的な技術を理解する。	事前学習	授業を実施する上で必要になる基礎基本について事前に調べ、まとめておく。
		事後学習	授業で学んだ基礎基本を自分用にアレンジしてまとめる。
第 7 回	授業の実践：授業実践に向けた準備（単元計画案と本時案作成）を行う。	事前学習	単元計画の書き方、本時案の書き方について調べ、まとめておく。
		事後学習	作成途中の単元計画、本時案に不足点や修正点がないか確認し、必要があれば修正案を考える。
第 8 回	授業の実践：授業実践に向けた準備（板書計画と教材教具づくり）を行う。	事前学習	単元計画の書き方、本時案の書き方について調べ、まとめておく。
		事後学習	作成途中の単元計画、本時案に不足点や修正点がないか確認し、必要があれば修正案を考える。
第 9 回	授業の実践：授業実践に向けた準備（単元計画案と本時案作成）を行う。	事前学習	単元計画の書き方、本時案の書き方について調べ、まとめておく。
		事後学習	作成した単元計画、本時案に不足点や修正点がないか確認し、必要があれば修正案を考える。
第 1 0 回	授業の実践と振り返り：模擬授業と模擬授業の振り返りを行う。	事前学習	模擬授業の振り返りをまとめる授業記録ノートを作成しておく。
		事後学習	模擬授業および振り返りの内容をまとめるとともに、自分なりの意見や自身のアイディアをまとめる。
第 1 1 回	授業の実践と振り返り：模擬授業と模擬授業の振り返りを行う。	事前学習	模擬授業の振り返りをまとめる授業記録ノートに次時の振り返りのポイントを書いておく。
		事後学習	模擬授業および振り返りの内容をまとめるとともに、自分なりの意見や自身のアイディアをまとめる。
第 1 2 回	授業の実践と振り返り：模擬授業と模擬授業の振り返りを行う。	事前学習	模擬授業の振り返りをまとめる授業記録ノートに次時の振り返りのポイントを書いておく。
		事後学習	模擬授業および振り返りの内容をまとめるとともに、自分なりの意見や自身のアイディアをまとめる。
第 1 3 回	授業の実践と振り返り：模擬授業と模擬授業の振り返りを行う。	事前学習	模擬授業の振り返りをまとめる授業記録ノートに次時の振り返りのポイントを書いておく。
		事後学習	模擬授業および振り返りの内容をまとめるとともに、自分なりの意見や自身のアイディアをまとめる。
第 1 4 回	実習日誌の書き方：実習日誌の書き方やそのポイントについて理解する。	事前学習	実習日誌の書き方について調べまとめておく。
		事後学習	実習日誌の書き方やポイントについて、自分なりにまとめる。
第 1 5 回	まとめ：本講義の振り返り、まとめを行う。	事前学習	これまでの授業を振り返り、疑問点等がないかまとめておく。
		事後学習	これまでの授業を振り返り、教育実習で活用できるように要点をまとめる。